


## 英米文学専攻

---

### 英米文学専攻

 英米文学専攻 博士前期課程

 英米文学専攻 博士後期課程

## 英米文学専攻 博士前期課程

---

### 英米文学専攻 博士前期課程

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

### 【Aコース（後期課程進学）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
必修科目	4		
↳文学研究法Ⅰ	2		
↳文学研究法Ⅱ	2		
選択科目	26		
↳自専攻科目			
↳自研究科他専攻科目			
↳委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

### 【Bコース（前期課程完結）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30 または 38		
授業科目			
必修科目	4		
↳文学研究法Ⅰ	2		
↳文学研究法Ⅱ	2		
選択科目	26 または 34		修士論文を執筆する者は26単位 修士論文を執筆しない者は34単位を修得し、リサーチ・ペーパーを提出すること
↳自専攻科目			
↳自研究科他専攻科目			
↳委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること

修士論文 またはリサーチ・ペーパー		必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること（修士論文またはリサーチ・ペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文、リサーチ・ペーパーの登録をすること）
----------------------	--	---

### 【研究指導スケジュール】

4月に行うガイダンスで配布する「英米文学専攻（博士前期課程）における研究の進め方」で詳細を確認すること

### 【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. テーマ設定が明確であること
2. 研究対象分野における先行研究を理解し、これを踏まえたうえで発見された研究課題であること
3. 独自の知見を提示する研究であること
4. 論文構成が的確で、論理展開と言語表現が明快であること

### 【リサーチ・ペーパー審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出されたリサーチ・ペーパーを次の水準及び審査項目について審査する。

1. 研究対象分野における先行研究について一定の理解を示していること
2. 構成が的確で、論理展開と言語表現が明快であること

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		選択
	必修	選必	
文学研究法I ※	2		
文学研究法II ※	2		
英文学特講・演習A 1			2
英文学特講・演習A 2			2
英文学特講・演習B 1			2
英文学特講・演習B 2			2
英文学特講・演習C 1			2
英文学特講・演習C 2			2
英文学特講・演習D 1			2
英文学特講・演習D 2			2
イギリス文化研究特講・演習 1			2
イギリス文化研究特講・演習 2			2
アメリカ文学特講・演習A 1			2
アメリカ文学特講・演習A 2			2
アメリカ文学特講・演習B 1			2
アメリカ文学特講・演習B 2			2
アメリカ文学特講・演習C 1			2
アメリカ文学特講・演習C 2			2
英語学英語教育特講・演習A 1			2
英語学英語教育特講・演習A 2			2
英語学英語教育特講・演習B 1			2
英語学英語教育特講・演習B 2			2
アメリカ文化研究特講・演習 1			2
アメリカ文化研究特講・演習 2			2
(他) 分野横断研究法：原理と 技法			2



### 3. 履修上の注意

1. 英米文学専攻に所属する学生は、「大学院英米文学専攻履修上の注意」に従って履修すること
2. 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」の項を参照すること
3. 年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」の説明を行うので、必ず出席のこと
4. 毎年度4月末に、専攻の定める「研究計画書」を提出すること
5. 「文学研究法Ⅰ（必修）」、「文学研究法Ⅱ（必修）」を一年次に履修すること
6. Bコース（前期課程完結）の学生の必要単位数は、修士論文を執筆する場合、30単位。修士論文を執筆しない場合は38単位を修得のうえ、リサーチ・ペーパーを提出する。詳細は専攻の規定に従うこと
7. 「(他) 分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講 2025年度秋学期 金曜日5時限 2単位科目）について  
分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位に算入される  
定員30名の抽選科目なので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、2025年度履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。  
なお、評価にはP（合格）・X（不合格）を使用する。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [英米文学専攻 博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHEL1001	春	文学研究法Ⅰ	ELT501-25j00	2	山口 和彦		
MHEL1002	秋	文学研究法Ⅱ	ELT502-25e00	2	*John Patrick Pazdziora	○	
MHEL7201	休講	英文学特講・演習A1	ELT601-25j00	2			
MHEL7202	春	英文学特講・演習A2	ELT602-25j00	2	町本 亮大		
MHEL7211	休講	英文学特講・演習B1	ELT603-25j00	2			
MHEL7212	休講	英文学特講・演習B2	ELT604-25j00	2			
MHEL7221	休講	英文学特講・演習C1	ELT605-25j00	2			
MHEL7222	秋	英文学特講・演習C2	ELT606-25j00	2	永富 友海		
MHEL7231	春	英文学特講・演習D1	ELT607-25j00	2	*眞野 泰		
MHEL7232	休講	英文学特講・演習D2	ELT608-25j00	2			
MHEL7251	秋	アメリカ文学特講・演習A1	ELT609-25j00	2	山口 和彦		
MHEL7252	休講	アメリカ文学特講・演習A2	ELT610-25j00	2			
MHEL7261	休講	アメリカ文学特講・演習B1	ELT611-25j00	2			
MHEL7262	春	アメリカ文学特講・演習B2	ELT612-25j00	2	下條 恵子		
MHEL7271	春	アメリカ文学特講・演習C1	ELT613-25j00	2	大塚 寿郎		
MHEL7272	休講	アメリカ文学特講・演習C2	ELT614-25j00	2			
MHEL7281	休講	英語学英語教育特講・演習A1	LGE601-25e00	2			
MHEL7282	休講	英語学英語教育特講・演習A2	LGE602-25e00	2			
MHEL7291	秋	英語学英語教育特講・演習B1	LGE603-25j00	2	*磐崎 弘貞		
MHEL7292	春	英語学英語教育特講・演習B2	LGE604-25j00	2	*細谷 早里	○	
MHEL7311	休講	イギリス文化研究特講・演習1	CUL601-25j00	2			
MHEL7312	秋	イギリス文化研究特講・演習2	CUL602-25e00	2	西 能史		
MHEL7321	休講	アメリカ文化研究特講・演習1	CUL603-25j00	2			
MHEL7322	秋	アメリカ文化研究特講・演習2	CUL604-25j00	2	飯野 友幸		
MHEL9120	秋	修士論文	ELT699-25j00	0	英米文学専攻各指導教員		M2対象
MHEL9130	秋	リサーチ・ペーパー	ELT689-25j00	0	英米文学専攻各指導教員		M2対象 (Bコース選択者のみ)



## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ELT599-25j00	飯野 友幸	
ELT599-25j00	大塚 寿郎	
ELT599-25j00	永富 友海	
ELT599-25j00	池田 真	
ELT599-25j00	松本 朗	休講
ELT599-25j00	西 能史	
ELT599-25j00	山口 和彦	
ELT599-25j00	下條 恵子	
ELT599-25j00	田島 優子	

## 英米文学専攻 博士後期課程

---

### 英米文学専攻 博士後期課程

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

### 【23年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目			
▶選択科目	12		3年間で合計12単位
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士予備論文、博士論文の審査および試験に合格すること

### 【22年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
▶リーディング・コース	12		3年間で合計12単位
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士予備論文、博士論文の審査および試験に合格すること

### 【研究指導スケジュール】

4月に行うガイダンスで配布する「英米文学専攻（博士後期課程）における研究の進め方」で詳細を確認すること

### 【博士論文審査基準】


ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. テーマ設定が明確であること
2. 研究対象分野における先行研究を理解し、これを踏まえた上で発見された研究課題であること
3. 顕著な独創性を持った知見を提示し、これにより学界に何らかの貢献をなすものであること
4. 論文構成が的確で、論理展開が明確であること
5. 言語表現が的確であり、形式と体裁に関する規定が守られていること


## 2. 授業科目の編成・単位

---

### 2. 授業科目の編成・単位 ▶

 2. 授業科目の編成・単位【24年次生以降】

 2. 授業科目の編成・単位【23年次生】

 2. 授業科目の編成・単位【22年次生以前】

## 2. 授業科目の編成・単位【24年次生以降】

科目名	単位数		選択
	必修	選必	
英文学特殊研究A1			2
英文学特殊研究A2			2
英文学特殊研究B1			2
英文学特殊研究B2			2
英文学特殊研究C1			2
英文学特殊研究C2			2
英文学特殊研究D1			2
英文学特殊研究D2			2
イギリス文化特殊研究 1			2
イギリス文化特殊研究 2			2
アメリカ文学特殊研究A1			2
アメリカ文学特殊研究A2			2
アメリカ文学特殊研究B1			2
アメリカ文学特殊研究B2			2
アメリカ文学特殊研究C1			2
アメリカ文学特殊研究C2			2
英語学英語教育特殊研究A1			2
英語学英語教育特殊研究A2			2
英語学英語教育特殊研究B1			2
英語学英語教育特殊研究B2			2
アメリカ文化特殊研究 1			2
アメリカ文化特殊研究 2			2

## 2. 授業科目の編成・単位【23年次生】

科目名	単位数		選択
	必修	選必	
リーディング・コース1A			2
リーディング・コース1B			2
リーディング・コース3A			2
リーディング・コース3B			2
リーディング・コース4A			2
リーディング・コース4B			2
リーディング・コース5A			2
リーディング・コース5B			2
リーディング・コース6A			2
リーディング・コース6B			2
リーディング・コース7A			2
リーディング・コース7B			2
リーディング・コース8A			2
リーディング・コース8B			2
リーディング・コース9A			2
リーディング・コース9B			2
リーディング・コース10A			2
リーディング・コース10B			2
英文学特殊研究A1			2
英文学特殊研究A2			2
英文学特殊研究B1			2
英文学特殊研究B2			2
英文学特殊研究C1			2
英文学特殊研究C2			2
英文学特殊研究D1			2
英文学特殊研究D2			2
イギリス文化特殊研究 1			2
イギリス文化特殊研究 2			2
アメリカ文学特殊研究A1			2
アメリカ文学特殊研究A2			2
アメリカ文学特殊研究B1			2
アメリカ文学特殊研究B2			2
アメリカ文学特殊研究C1			2
アメリカ文学特殊研究C2			2
英語学英語教育特殊研究A1			2
英語学英語教育特殊研究A2			2
英語学英語教育特殊研究B1			2
英語学英語教育特殊研究B2			2

アメリカ文化特殊研究 1			2
アメリカ文化特殊研究 2			2

## 2. 授業科目の編成・単位【22年次生以前】

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
リーディング・コース1A	2		
リーディング・コース1B	2		
リーディング・コース2A	2		
リーディング・コース2B	2		
リーディング・コース3A	2		
リーディング・コース3B	2		
リーディング・コース4A	2		
リーディング・コース4B	2		
リーディング・コース5A	2		
リーディング・コース5B	2		
リーディング・コース6A	2		
リーディング・コース6B	2		
リーディング・コース7A	2		
リーディング・コース7B	2		
2リーディング・コース8A	2		
リーディング・コース8B	2		
リーディング・コース9A	2		
リーディング・コース9B	2		
リーディング・コース10A	2		
リーディング・コース10B	2		
英文学特殊研究A1			2
英文学特殊研究A2			2
英文学特殊研究B1			2
英文学特殊研究B2			2
英文学特殊研究C1			2
英文学特殊研究C2			2
英文学特殊研究D1			2
英文学特殊研究D2			2
イギリス文化特殊研究 1			2
イギリス文化特殊研究 2			2
アメリカ文学特殊研究A1			2
アメリカ文学特殊研究A2			2
アメリカ文学特殊研究B1			2
アメリカ文学特殊研究B2			2
アメリカ文学特殊研究C1			2
アメリカ文学特殊研究C2			2
英語学英語教育特殊研究A1			2
英語学英語教育特殊研究A2			2





英語学英語教育特殊研究B1			2
英語学英語教育特殊研究B2			2
アメリカ文化特殊研究 1			2
アメリカ文化特殊研究 2			2


## 3. 履修上の注意

---

### 3. 履修上の注意

 3. 履修上の注意【24年次生以降】

 3. 履修上の注意【23年次生】

 3. 履修上の注意【22年次生以前】

### 3. 履修上の注意【24年次生以降】

---

博士後期課程は、博士論文提出の前提条件である博士予備論文の執筆に眼目を置く。そのために、在学中は毎年指導教員による「研究指導」を受けなければならない。さらに年2回の中間発表をおこなうことが義務付けられる。発表会は原則として9月、3月におこなう。

前期課程・後期課程ともに、在學生は年度の初めに開催される専攻ガイダンスには必ず出席して「研究指導」に関する説明を受け、専攻の定める研究計画書を後日提出する。

博士予備論文の詳細は、英米文学専攻内規に別途定める。

### 3. 履修上の注意【23年次生】

---

博士後期課程は、博士論文提出の前提条件である博士予備論文の執筆に眼目を置く。そのために、在学中は毎年指導教員による「研究指導」を受けなければならない。さらに年2回の中間発表をおこなうことが義務付けられる。発表会は原則として9月、3月におこなう。

「研究指導」と連動して、「リーディング・コース」では選択科目である講義・演習を春学期・秋学期各1コマずつ（計6コマ、12単位）コースワークとして履修する。

前期課程・後期課程ともに、在學生は年度の初めに開催される専攻ガイダンスには必ず出席して「研究指導」に関する説明を受け、専攻の定める研究計画書を後日提出する。

博士予備論文の詳細は、英米文学専攻内規に別途定める。

### 3. 履修上の注意【22年次生以前】

---

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」の説明を行うので、必ず出席すること。また専攻の定める「研究計画書」を提出すること。

後期課程の学生は、3年間に、指導教員を含めて3名の教員によるリーディング・コースを1名につき2学期分ずつ履修することにより、12単位を与えられる。コースは英文学、アメリカ文学、英語学の3分野からできるだけ万遍なく選択するように心がけるべきである。すべてが同じ分野のものであってはいけない。また、同じ教員のコースを、2学期を超えて履修することはできない。将来、課程博士論文を提出して学位を得ようとする者は、リーディング・コースの履修に加えて、自分の専門分野における3年間の研究成果を修了論文あるいは博士予備論文として提出し、専攻所属教員による審査を受ける。修了論文あるいは博士予備論文については、英米文学専攻内規に詳細を定める。

「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」の項を参照すること。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [英米文学専攻 博士後期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DHEL3521	休講	英文学特殊研究A1	ELT821-25j00	2			前期課程「英文学特講・演習A1」と合併
DHEL3522	春	英文学特殊研究A2	ELT822-25j00	2	町本 亮大		前期課程「英文学特講・演習A2」と合併
DHEL3523	休講	英文学特殊研究B1	ELT823-25j00	2			前期課程「英文学特講・演習B1」と合併
DHEL3524	休講	英文学特殊研究B2	ELT824-25j00	2			前期課程「英文学特講・演習B2」と合併
DHEL3525	休講	英文学特殊研究C1	ELT825-25j00	2			前期課程「英文学特講・演習C1」と合併
DHEL3526	秋	英文学特殊研究C2	ELT826-25j00	2	永富 友海		前期課程「英文学特講・演習C2」と合併
DHEL3527	春	英文学特殊研究D1	ELT827-25j00	2	*眞野 泰		前期課程「英文学特講・演習D1」と合併
DHEL3528	休講	英文学特殊研究D2	ELT828-25j00	2			前期課程「英文学特講・演習D2」と合併
DHEL3529	休講	イギリス文化特殊研究1	CUL801-25j00	2			前期課程「イギリス文化研究特講・演習1」と合併
DHEL3530	秋	イギリス文化特殊研究2	CUL802-25e00	2	西 能史		前期課程「イギリス文化研究特講・演習2」と合併
DHEL3531	秋	アメリカ文学特殊研究A1	ELT829-25j00	2	山口 和彦		前期課程「アメリカ文学特講・演習A1」と合併
DHEL3532	休講	アメリカ文学特殊研究A2	ELT830-25j00	2			前期課程「アメリカ文学特講・演習A2」と合併
DHEL3533	休講	アメリカ文学特殊研究B1	ELT831-25j00	2			前期課程「アメリカ文学特講・演習B1」と合併
DHEL3534	春	アメリカ文学特殊研究B2	ELT832-25j00	2	下條 恵子		前期課程「アメリカ文学特講・演習B2」と合併
DHEL3535	春	アメリカ文学特殊研究C1	ELT833-25j00	2	大塚 寿郎		前期課程「アメリカ文学特講・演習C1」と合併
DHEL3536	休講	アメリカ文学特殊研究C2	ELT834-25j00	2			前期課程「アメリカ文学特講・演習C2」と合併
DHEL3537	休講	英語学英語教育特殊研究A1	LGE801-25e00	2			前期課程「英語学英語教育特講・演習A1」と合併
DHEL3538	休講	英語学英語教育特殊研究A2	LGE802-25e00	2			前期課程「英語学英語教育特講・演習A2」と合併
DHEL3539	秋	英語学英語教育特殊研究B1	LGE803-25j00	2	*磐崎 弘貞		前期課程「英語学英語教育特講・演習B1」と合併
DHEL3540	春	英語学英語教育特殊研究B2	LGE804-25j00	2	*細谷 早里	○	前期課程「英語学英語教育特講・演習B2」と合併
DHEL3541	休講	アメリカ文化特殊研究1	CUL803-25j00	2			前期課程「アメリカ文化研究特講・演習1」と合併
DHEL3542	秋	アメリカ文化特殊研究2	CUL804-25j00	2	飯野 友幸		前期課程「アメリカ文化研究特講・演習2」と合併

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ELT899-25j00	飯野 友幸	
ELT899-25j00	大塚 寿郎	
ELT899-25j00	永富 友海	
ELT899-25j00	池田 真	
ELT899-25j00	松本 朗	休講
ELT899-25j00	西 能史	
ELT899-25j00	山口 和彦	
ELT899-25j00	下條 恵子	
ELT899-25j00	田島 優子	

## ドイツ文学専攻

---

### ドイツ文学専攻 ▶

📁 ドイツ文学専攻 博士前期課程

📁 ドイツ文学専攻 博士後期課程



## ドイツ文学専攻 博士前期課程


### ドイツ文学専攻 博士前期課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表


## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
↳次専攻科目			
↳自研究科他専攻科目			
↳委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 【研究指導スケジュール】

 書式や提出期限に係る詳細は、4月上旬の専攻ガイダンスで配布する「ガイダンス資料」を参照のこと。

事項	期日	対象	備考
ガイダンスおよび指導教員の決定・確認	4月上旬	M1、M2	
研究計画書の提出	5月末まで	M1、M2	毎年度提出すること。
修士論文計画書の提出	5月末まで	M2	修士論文提出年度に提出。
雑誌Stufeの「研究ノート」(※①)の題目の決定	夏休み前まで	M1、M2	執筆は任意
修士論文中間発表会	10月	M2	修士論文提出年度に実施。
修士論文の履修登録	9月下旬～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行うこと。
雑誌Stufeの「研究ノート」の提出	10月末まで		
修士論文の提出	1月中旬	M2	
論文審査・口述試験	2月中旬	M2	
研究報告書の提出	3月末まで	M1、M2	毎年度提出すること。
修士論文の題目の決定	3月末まで	M1	

 ※① 院生による雑誌 Stufe には、希望する者は「研究ノート」を執筆することができる。執筆を希望する場合には、指導教員の指導の下で作成し、Stufe 担当教員の査読を受ける。

### 【修士論文審査基準】

自立した研究者に必要な資質と能力を示す論文であること。

1. テーマ設定が的確であること。
2. 関連する先行研究を踏まえ、論文の位置づけが明確にされていること。
3. 論文の構成が適切であり、論理展開が明快であること。
4. 伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
5. 引用などに関する規定が守られていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

### <文学研究系列>

科目名	必修 (単位数)	選必 (単位数)	選択 (単位数)
ドイツ文学研究Ia			2
ドイツ文学研究Ib			2
ドイツ文学研究II a			2
ドイツ文学研究II b			2
ドイツ文学研究IIIa			2
ドイツ文学研究IIIb			2
ドイツ文学研究IVa			2
ドイツ文学研究IVb			2
ドイツ文学研究Va			2
ドイツ文学研究Vb			2
ドイツ文学研究VIa			2
ドイツ文学研究VIb			2

### <文化研究系列>

科目名	必修 (単位数)	選必 (単位数)	選択 (単位数)
ドイツ文化研究Ia			2
ドイツ文化研究Ib			2
ドイツ文化研究II a			2
ドイツ文化研究II b			2
ドイツ文化研究IIIa			2
ドイツ文化研究IIIb			2

### <言語研究系列>

科目名	必修 (単位数)	選必 (単位数)	選択 (単位数)
(他) ドイツ語統語論1 ※注1			2
(他) ドイツ語統語論2 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論1 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論2 ※注1			2
(他) ドイツ語音声学・音韻論1 ※注1			2
(他) ドイツ語音声学・音韻論2 ※注1			2
(他) ドイツ語教育1 ※注1			2
(他) ドイツ語教育2 ※注1			2
(他) ドイツ語意味論1 ※注1			2

(他) ドイツ語意味論 2 ※注 1		2
--------------------	--	---

### <大学院分野横断科目>

科目名	必修 (単位数)	選必 (単位数)	選択 (単位数)
(他) 分野横断研究法：原理と技法 ※注 2			2



※注 1：言語学専攻開講科目。詳細は「言語学専攻 博士前期課程」の項を参照。

※注 2：大学院分野横断型科目（神学研究科神学専攻開講科目）

### 3. 履修上の注意

---

1. 前期課程の学生は、指導教員の指導のもとに修士論文を作成すること。また、「研究指導」を在学中毎学期受けること。研究指導の具体的な内容については、学年始めのガイダンスにおいて資料を配付の上、説明を行う。必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
2. 「(他) 分野横断研究法：原理と技法」(神学研究科神学専攻開講 2025年度秋学期 金曜日5時限 2単位科目) について分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位に算入される。定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、2025年度履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価にはP(合格)・X(不合格)を使用する。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [ドイツ文学専攻 博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHGL7310	春	ドイツ文学研究Ⅰa	GLT501-26j00	2	高橋 優		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅰa」と合併
MHGL7320	休講	ドイツ文学研究Ⅰb	GLT601-26j00	2			
MHGL7330	春	ドイツ文学研究Ⅱa	GLT502-26g00	2	Zemsauer Christian	○	博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅱa」と合併
MHGL7340	秋	ドイツ文学研究Ⅱb	GLT602-26g00	2	Zemsauer Christian	○	博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅱb」と合併
MHGL7350	秋	ドイツ文学研究Ⅲa	GLT503-26j00	2	高橋 優		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅲa」と合併
MHGL7360	休講	ドイツ文学研究Ⅲb	GLT603-26j00	2			
MHGL7370	春	ドイツ文学研究Ⅳa	GLT504-26j00	2	中井 真之		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅳa」と合併
MHGL7380	休講	ドイツ文学研究Ⅳb	GLT604-26g00	2			
MHGL7390	秋	ドイツ文学研究Ⅴa	GLT505-26j00	2	大田 浩司		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅴa」と合併
MHGL7400	休講	ドイツ文学研究Ⅴb	GLT605-26j00	2			
MHGL7410	秋	ドイツ文学研究Ⅵa	GLT506-26j00	2	*中村 朝子		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅵa」と合併
MHGL7420	休講	ドイツ文学研究Ⅵb	GLT606-26j00	2			
MHGL7610	休講	ドイツ文化研究Ⅰa	GLT507-26j00	2		○	
MHGL7620	春	ドイツ文化研究Ⅰb	GLT607-26j00	2	*DUPPEL Mechthild	○	博士後期課程「ドイツ文化特殊研究Ⅰb」と合併
MHGL7630	春	ドイツ文化研究Ⅱa	GLT508-26g00	2	*佐藤 朋之		博士後期課程「ドイツ文化特殊研究Ⅱa」と合併
MHGL7640	秋	ドイツ文化研究Ⅱb	GLT608-26g00	2	小松原 由理		博士後期課程「ドイツ文化特殊研究Ⅱb」と合併
MHGL7650	休講	ドイツ文化研究Ⅲa	GLT509-26j00	2			
MHGL7660	春	ドイツ文化研究Ⅲb	GLT609-26j00	2	*星野 宏美		博士後期課程「ドイツ文化特殊研究Ⅲb」と合併
MHGL9280	秋	修士論文	GLT699-26m00	0	ドイツ文学専攻各指導教員		M2対象

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
GLT599-26m00	大田 浩司	
GLT599-26m00	高橋 優	
GLT599-26m00	中井 真之	
GLT599-26m00	ZEMSAUER Christian	
GLT599-26m00	小松原 由理	



## ドイツ文学専攻 博士後期課程


### ドイツ文学専攻 博士後期課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	14		
授業科目			
▶選択科目	14		
↳自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

### 【研究指導スケジュール】

 書式や提出期限にかかわる詳細は、4月上旬の専攻ガイダンスで配布する「ガイダンス資料」を参照のこと。

事項	期日	対象	備考
ガイダンスおよび指導教員の決定・確認	4月上旬	D1、D2、D3	
研究計画書の提出	5月末まで	D1、D2、D3	毎年度提出すること。
雑誌Stufeの論文の題目の決定	夏休み前まで	D1、D2、D3	
雑誌Stufeの論文提出	10月末まで	D1、D2、D3	
後期課程修了論文の提出	1月中旬	D3	博士後期課程を博士論文未提出で終わる場合には、修了時に提出する。
研究報告書の提出	3月末まで	D1、D2	毎年度提出すること。
博士論文作成計画書の提出	論文提出前年度の6月まで	D3	「ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規」を参照のこと。
博士論文の提出		D3	「ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規」を参照のこと。
論文審査・口述試験		D3	「ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規」を参照のこと。

### 【博士論文審査基準】

自立した研究者として、専門分野において独自の貢献を行うことができる能力を示す論文であること。

1. テーマ設定が的確であり、専門分野に新たな知見をもたらすものであること。
2. 関連する先行研究を踏まえ、論文の位置づけが明確にされていること。
3. 論文の構成が適切であり、論理展開が明快であること。
4. 伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
5. 引用などに関する規定が守られていること。

なお、博士論文を提出するための前提条件等に関しては、ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規を参照のこと。

## 2. 授業科目の編成・単位

### <文学研究系列>

科目名	必修 (単位数)	選必 (単位数)	選択 (単位数)
ドイツ文学特殊研究Ia			2
ドイツ文学特殊研究Ib			2
ドイツ文学特殊研究II a			2
ドイツ文学特殊研究II b			2
ドイツ文学特殊研究III a			2
ドイツ文学特殊研究III b			2
ドイツ文学特殊研究IV a			2
ドイツ文学特殊研究IV b			2
ドイツ文学特殊研究V a			2
ドイツ文学特殊研究V b			2
ドイツ文学特殊研究VI a			2
ドイツ文学特殊研究VI b			2

### <文化研究系列>

科目名	必修 (単位数)	選必 (単位数)	選択 (単位数)
ドイツ文化特殊研究Ia			2
ドイツ文化特殊研究Ib			2
ドイツ文化特殊研究II a			2
ドイツ文化特殊研究II b			2
ドイツ文化特殊研究III a			2
ドイツ文化特殊研究III b			2

### <言語研究系列>

科目名	必修 (単位数)	選必 (単位数)	選択 (単位数)
(他) ドイツ語統語論1 ※注1			2
(他) ドイツ語統語論2 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論1 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論2 ※注1			2
(他) ドイツ語音声学・音韻論1 ※注1、注2			2
(他) ドイツ語音声学・音韻論2 ※注1、注2			2
(他) ドイツ語教育1 ※注1			2
(他) ドイツ語教育2 ※注1			2
(他) ドイツ語意味論1 ※注1			2



※注1：言語学専攻開講科目。「言語学専攻 博士前期課程」の項を参照。

※注2：2018年度に「ドイツ語音韻論1」「ドイツ語音韻論2」から科目名変更。

### 3. 履修上の注意

---

1. 後期課程の学生は、指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。研究指導の具体的な内容については、学年始めのガイダンスにおいて資料を配付の上、説明を行う。必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」の項を参照すること。
2. 指導教員開講科目は必ず履修すること。
3. 指導教員以外の開講科目より4科目8単位は履修すること。
4. 博士論文を作成し、提出したい者は、「ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規」に従って所定の手続きをとること。
5. 博士論文を提出せずに満期退学する場合も、在籍中の研究成果を論文、もしくは論文に準ずる形で提出しなければならない。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [ドイツ文学専攻 博士後期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DHGL7500	春	ドイツ文学特殊研究Ⅰa	GLT801-26j00	2	高橋 優		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅰa」と合併
DHGL7501	休講	ドイツ文学特殊研究Ⅰb	GLT802-26j00	2			
DHGL7502	春	ドイツ文学特殊研究Ⅱa	GLT803-26g00	2	Zemsauer Christian	○	博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅱa」と合併
DHGL7503	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅱb	GLT804-26g00	2	Zemsauer Christian	○	博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅱb」と合併
DHGL7504	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅲa	GLT805-26j00	2	高橋 優		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅲa」と合併
DHGL7505	休講	ドイツ文学特殊研究Ⅲb	GLT806-26j00	2			
DHGL7506	春	ドイツ文学特殊研究Ⅳa	GLT807-26j00	2	中井 真之		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅳa」と合併
DHGL7507	休講	ドイツ文学特殊研究Ⅳb	GLT808-26g00	2			
DHGL7508	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅴa	GLT809-26j00	2	大田 浩司		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅴa」と合併
DHGL7509	休講	ドイツ文学特殊研究Ⅴb	GLT810-26j00	2			
DHGL7510	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅵa	GLT811-26j00	2	*中村 朝子		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅵa」と合併
DHGL7511	休講	ドイツ文学特殊研究Ⅵb	GLT812-26j00	2			
DHGL7700	休講	ドイツ文化特殊研究Ⅰa	GLT813-26j00	2		○	
DHGL7701	春	ドイツ文化特殊研究Ⅰb	GLT814-26j00	2	*DUPPEL Mechthild	○	博士前期課程「ドイツ文化研究Ⅰb」と合併
DHGL7702	春	ドイツ文化特殊研究Ⅱa	GLT815-26g00	2	*佐藤 朋之		博士前期課程「ドイツ文化研究Ⅱa」と合併
DHGL7703	秋	ドイツ文化特殊研究Ⅱb	GLT816-26g00	2	小松原 由理		博士前期課程「ドイツ文化研究Ⅱb」と合併
DHGL7704	休講	ドイツ文化特殊研究Ⅲa	GLT817-26j00	2			
DHGL7705	春	ドイツ文化特殊研究Ⅲb	GLT818-26j00	2	*星野 宏美		博士前期課程「ドイツ文化研究Ⅲb」と合併


## 5. 研究指導一覧表


ナンバリング	担当教員名	備考
GLT899-26m00	大田 浩司	
GLT899-26m00	高橋 優	
GLT899-26m00	中井 真之	
GLT899-26m00	ZEMSAUER Christian	
GLT899-26m00	小松原 由理	

## フランス文学専攻

---

### フランス文学専攻

 フランス文学専攻 博士前期課程

 フランス文学専攻 博士後期課程



## フランス文学専攻 博士前期課程

---

### フランス文学専攻 博士前期課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
↳自専攻科目			
↳A群	24		
↳B群			
↳自研究科他専攻科目			
↳委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 【研究指導スケジュール】

**i** 書式や提出期限に係る詳細は、4月実施の専攻ガイダンスで配布するマニュアルを参照のこと。

**i** 9月修了希望者は、上記に係る期日を別途指定するため、履修登録前に必ず指導教員に連絡をとり、スケジュール等詳細について確認すること。

事項	期日	対象	備考
年次計画書の提出	4月末まで	M1、M2	毎年度提出すること
研究報告書の提出	2月末まで	M1、M2	毎年度提出すること
修士論文計画書の提出	5月上旬	M2	修士論文提出年度に提出
修士論文中間発表会	10月上旬	M2	修士論文提出年度に実施
修士論文の履修登録	9月下旬～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行うこと
修士論文の提出	1月中旬	M2	
論文審査・口述試験	2月中旬	M2	

### 【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
2. 研究テーマが明確で、問題設定が適切なものであること。

3. 先行研究が十分に参照され、引用が適切に明記されていること。
4. 論文の構成が的確になされ、論理の展開が明晰であること。
5. 論文の言語表現が正しく、目次と本文に整合性があること。  
(論文のあり方全般や規格については、ガイダンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。)

## 2. 授業科目の編成・単位

### < A群 >

科目名	単位数		選択
	必修	選必	
19世紀小説研究I			2
19世紀小説研究II			2
モデルニテ研究I ※注1			2
モデルニテ研究II ※注1			2
20世紀文学研究I			2
20世紀文学研究II			2
古典主義文学研究I ※注3			2
古典主義文学研究II ※注3			2
キリスト教文学研究I ※注2			2
キリスト教文学研究II ※注2			2
テキストとイメージ研究I			2
テキストとイメージ研究II			2
自伝文学研究I			2
自伝文学研究II ※注3			2
アンシャン・レジーム文学研究I			2
アンシャン・レジーム文学研究II			2
20世紀小説研究I			2
20世紀小説研究II			2
20世紀批評研究I			2
20世紀批評研究II			2
専門文献研究A			2
専門文献研究B			2
専門文献研究C			2
専門文献研究D			2
専門文献研究E			2
専門文献研究AI ※注2			2
専門文献研究AII ※注2			2
専門文献研究BI ※注2			2
専門文献研究BII ※注2			2
専門文献研究CII ※注2			2
専門文献研究CIII ※注2			2
専門文献研究CIV ※注2			2
専門文献研究DI ※注2			2
専門文献研究DII ※注2			2



注1：2020年度まで開講

注2：2022年度まで開講

注3：2024年度まで開講

## < B群 >

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		選択
	必修	選必	
フランス語小論文作成法			2
(他) フランス語文法論1※注1			2
(他) フランス語文法論2※注1			2
(他) フランス語音声学1※注1			2
(他) フランス語音声学2※注1			2
(他) フランス語特殊研究1※注1			2
(他) フランス語特殊研究2※注1			2
(他) 分野横断研究法：原理と技法 ※注2			2



注1：言語学専攻開講科目。詳細は「言語学専攻 博士前期課程」の項を参照。

注2：大学院分野横断型科目（神学専攻開講科目）

### 3. 履修上の注意

---

1. 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」の項を参照すること。
2. A群より24単位履修すること。
3. A群・B群いずれの科目も、繰り返し履修することが可能である。
4. 委託聴講科目の単位はA群科目として認定する。
5. 4月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。
6. 「(他) 分野横断研究法：原理と技法」(神学研究科神学専攻開講 2025年度秋学期金曜日5時限 2単位科目) について分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位数に算入される。定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、2025年度履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価にはP (合格)・X (不合格) を使用する。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [フランス文学専攻 博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHFL7150	春	アンシャン・レジーム文学研究 I	FLT505-27f00	2	DESPREZ Michaël	○	
MHFL7320	春	19世紀小説研究 I	FLT507-27m00	2	博多 かおる		
MHFL7300	春	テキストとイメージ研究 I	FLT509-27m00	2	森田 直子		
MHFL7570	春	20世紀批評研究 I	FLT526-27m00	2	根木 昭英		
MHFL7560	春	専門文献研究E	FLT545-27m00	2	*福田 桃子		
MHFL7530	春	専門文献研究B	FLT552-27m00	2	*塚本 昌則		
MHFL7540	春	専門文献研究C	FLT553-27m00	2	*小倉 博孝	○	
MHFL7330	秋	19世紀小説研究 II	FLT508-27m00	2	博多 かおる		
MHFL7310	秋	テキストとイメージ研究 II	FLT510-27m00	2	森田 直子		
MHFL7460	秋	フランス語小論文作成法	FLT521-27f00	2	PEYRON Bruno	○	
MHFL7510	秋	20世紀小説研究 II	FLT525-27m00	2	根木 昭英		
MHFL7520	秋	専門文献研究A	FLT551-27m00	2	*原 大地		
MHFL7550	秋	専門文献研究D	FLT544-27m00	2	*中野 芳彦		
MHFL9300	秋	修士論文	FLT699-27m00	0	フランス文学専攻各指導教員		M2対象
MHFL7110	休講	自伝文学研究 I	FLT503-27f00	2		○	
MHFL7160	休講	アンシャン・レジーム文学研究 II	FLT506-27f00	2		○	
MHFL7360	休講	20世紀文学研究 I	FLT511-27m00	2			
MHFL7370	休講	20世紀文学研究 II	FLT512-27m00	2			
MHFL7500	休講	20世紀小説研究 I	FLT524-27m00	2			
MHFL7580	休講	20世紀批評研究 II	FLT527-27m00	2			

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
FLT599-27m00	永井 敦子	春学期 休講
FLT599-27m00	博多 かおる	
FLT599-27m00	森田 直子	
FLT599-27m00	DESPREZ Michaël	
FLT599-27m00	PEYRON Bruno	
FLT599-27m00	根木 昭英	



## フランス文学専攻 博士後期課程

---


### フランス文学専攻 博士後期課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	6		
▶選択科目	6		
↳自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

### 【研究指導スケジュール】

 書式や提出期限に係る詳細は、4月実施の専攻ガイダンスで配布するマニュアルを参照のこと。

事項	期日	対象	備考
年次計画書の提出	4月末まで	D1、D2、D3	毎年度提出すること
研究報告書の提出	2月末まで	D1、D2、D3	毎年度提出すること
博士論文計画書の提出	7月上旬	D1	
博士論文中間発表会	7月、12月上旬	D1、D2、D3	
博士論文審査の申請	論文提出年度の6月末まで	D3	
博士論文の提出	審査半年前まで	D3	指導教員と相談の上
論文審査・口述試験		D3	指導教員と相談の上

### 【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
2. 研究テーマが明確で、問題設定が適切なものであること。
3. 先行研究が十分に参照され、引用が適切に明記されていること。
4. 論文の構成が的確になされ、論理の展開が明晰であること。
5. 論文の言語表現が正しく、目次と本文に整合性があること。

6. 研究分野における先端的成果とみなされるものであること。  
(論文のあり方全般や規格については、ガイダンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。)

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他):他専攻開講科目	単位数		選択
	必修	選必	
19世紀小説特殊研究I			2
19世紀小説特殊研究II			2
モデルニテ特殊研究I ※注1			2
モデルニテ特殊研究II ※注1			2
20世紀文学特殊研究I			2
20世紀文学特殊研究II			2
古典主義文学特殊研究I ※注3			2
古典主義文学特殊研究II ※注3			2
キリスト教文学特殊研究I ※注2			2
キリスト教文学特殊研究II ※注2			2
テキストとイメージ特殊研究I			2
テキストとイメージ特殊研究II			2
自伝文学特殊研究I			2
自伝文学特殊研究II ※注3			2
アンシャン・レジーム文学特殊研究I			2
アンシャン・レジーム文学特殊研究II			2
20世紀小説特殊研究I			2
20世紀小説特殊研究II			2
20世紀批判特殊研究I			2
20世紀批判特殊研究II			2

注1:2020年度まで開講



注2:2022年度まで開講

注3:2024年度まで開講

### 3. 履修上の注意

---

1. 17年次生以降の学生は、後期課程在籍中に開講科目の中から最低6単位を修得すること。
2. 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」の項を参照すること。
3. 4月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [フランス文学専攻 博士後期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DHFL7050	春	アンシャン・レジーム文学特殊研究 I	FLT805-27f00	2	DESPREZ Michaël	○	
DHFL7070	春	19世紀小説特殊研究 I	FLT807-27m00	2	博多 かおる		
DHFL7150	春	テキストとイメージ特殊研究 I	FLT815-27m00	2	森田 直子		
DHFL7190	春	20世紀批評特殊研究 I	FLT819-27m00	2	根木 昭英		
DHFL7080	秋	19世紀小説特殊研究 II	FLT808-27m00	2	博多 かおる		
DHFL7160	秋	テキストとイメージ特殊研究 II	FLT816-27m00	2	森田 直子		
DHFL7180	秋	20世紀小説特殊研究 II	FLT818-27m00	2	根木 昭英		
DHFL7030	休講	自伝文学特殊研究 I	FLT803-27f00	2		○	
DHFL7060	休講	アンシャン・レジーム文学特殊研究 II	FLT806-27f00	2		○	
DHFL7110	休講	20世紀文学特殊研究 I	FLT811-27m00	2			
DHFL7120	休講	20世紀文学特殊研究 II	FLT812-27m00	2			
DHFL7170	休講	20世紀小説特殊研究 I	FLT817-27m00	2			
DHFL7200	休講	20世紀批評特殊研究 II	FLT820-27m00	2			


## 5. 研究指導一覧表


ナンバリング	担当教員名	備考
FLT899-27m00	永井 敦子	休講
FLT899-27m00	博多 かおる	
FLT899-27m00	森田 直子	
FLT899-27m00	DESPREZ Michaël	
FLT899-27m00	PEYRON Bruno	
FLT899-27m00	根木 昭英	

## 新聞学専攻

---

### 新聞学専攻

 新聞学専攻 博士前期課程

 新聞学専攻 博士後期課程



## 新聞学専攻 博士前期課程

---

### 新聞学専攻 博士前期課程

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	20		
↳コミュニケーション論特講I・II	各2		
↳ジャーナリズム史特講I・II	各2		
↳マス・メディア論特講I・II	各2		
↳論文演習Ia	2		
↳論文演習Ib	2		
↳論文演習II a	2		
↳論文演習II b	2		
▶選択科目	10		
↳自専攻科目			
↳自研究科他専攻			
↳委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる（履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照）
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

### 【研究指導スケジュール】

	期日	対象	備考
博士前期課程研究計画書の提出	5月上旬	M1	
修士論文計画書の提出	5月上旬	M2	修士論文を提出する年度に提出すること。
修士論文中間発表会	9月下旬～10月中旬	M2	修士論文を提出する年度に実施する。
修士論文の履修登録	9月下旬～10月上旬	M2	履修登録期間中に履修登録を行うこと。
修士論文の提出	1月中旬	M2	
論文審査・口述試験	2月中旬	M2	

### 【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題意識が明確で、テーマが十分に絞り込まれていること。
2. 先行研究が十分に参照され、引用が的確になされていること。
3. 研究目的に照らして、研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
4. 論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
5. 論文の言語表現が的確で正しく、目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
6. 得られた知見にオリジナリティがあり、新聞学の研究に寄与するものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

---

科目名	単位数		選択
	必修	選必	
コミュニケーション論特講I	2		
コミュニケーション論特講II	2		
コミュニケーション論演習			2
ジャーナリズム史特講I	2		
ジャーナリズム史特講II	2		
ジャーナリズム史演習			2
マス・メディア論特講I	2		
マス・メディア論特講II	2		
マス・メディア論演習			2
新聞論特講I			2
新聞論特講II			2
放送論特講I			2
放送論特講II			2
広告論特講I			2
広告論特講II			2
広報論特講I			2
広報論特講II			2
マス・コミュニケーション法制特講I			2
マス・コミュニケーション法制特講II			2
米州のマス・メディア論特講I			2
米州のマス・メディア論特講II			2
国際コミュニケーション論特講I			2
国際コミュニケーション論特講II			2
情報科学論特講I			2
情報科学論特講II			2
マス・コミュニケーション調査特講I			2
マス・コミュニケーション調査特講II			2
論文演習Ia	2		
論文演習Ib	2		
論文演習IIa	2		
論文演習IIb	2		

### 3. 履修上の注意

---

1. 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」の項を参照すること。
2. 前期課程において修士論文を提出するに際しては、その概要書（A4横書・40字・35行で4枚程度）も併せて提出すること。
3. 必修及び選択科目「II」の科目については、原則同一科目名の「I」を履修していなければならない。
4. 「分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講 2025年度秋学期 金曜日5時限 2単位科目）について分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された。本専攻では修了に必要な単位として算入することはできないが、履修することは可能。定員30名の抽選科目なので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、2025年度履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価にはP（合格）・X（不合格）を使用する。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [新聞学専攻 博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHJN1000	春	コミュニケーション論特講Ⅰ	JRN520-28j00	2	渡邊 久哲		後期課程「コミュニケーション論特殊研究Ⅰa」と合併
MHJN1040	春	ジャーナリズム史特講Ⅰ	JRN522-28j00	2	佐藤 卓己		後期課程「ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ」と合併
MHJN1070	春	マス・メディア論特講Ⅰ	JRN524-28j00	2	音 好宏		
MHJN1271	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	音 好宏		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1301	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	渡邊 久哲		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1311	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	阿部 るり		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1321	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	柴野 京子		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1351	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	国枝 智樹		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1361	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	奥山 俊宏		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1371	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	高橋 直治		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1381	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	アルン デソーザ		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1391	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	佐藤 卓己		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN2031	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	音 好宏		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2061	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	渡邊 久哲		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2071	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	阿部 るり		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2081	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	柴野 京子		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2111	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	国枝 智樹		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2121	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	奥山 俊宏		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2131	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	高橋 直治		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2141	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	アルン デソーザ		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2151	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	佐藤 卓己		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN7020	春	コミュニケーション論演習	JRN501-28e00	2	国枝 智樹	○	
MHJN7101	春	マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ	JRN526-28j00	2	*植田 記康		後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱa」と合併
MHJN7111	春	米州のマス・メディア論特講Ⅰ	JRN514-28j00	2	*尾崎 元		
MHJN7150	春	新聞論特講Ⅰ	JRN504-28j00	2	奥山 俊宏		後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅰa」と合併
MHJN7170	春	放送論特講Ⅰ	JRN506-28j00	2	音 好宏		
MHJN7190	春	国際コミュニケーション論特講Ⅰ	JRN508-28j00	2	阿部 るり		
MHJN7210	春	情報科学論特講Ⅰ	JRN510-28j00	2	音 好宏		
MHJN7230	春	マス・コミュニケーション調査特講Ⅰ	JRN512-28j00	2	渡邊 久哲		
MHJN7250	春	広報論特講Ⅰ	JRN528-28j00	2	国枝 智樹		
MHJN9211	春	修士論文	JRN699-28j00	0	新聞学専攻各指導教員		M2 対象 ※9月修了希望者のみ登録可
MHJN1020	秋	コミュニケーション論特講Ⅱ	JRN521-28j00	2	渡邊 久哲		後期課程「コミュニケーション論特殊研究Ⅰb」と合併
MHJN1060	秋	ジャーナリズム史特講Ⅱ	JRN523-28j00	2	佐藤 卓己		後期課程「ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ」と合併
MHJN1080	秋	マス・メディア論特講Ⅱ	JRN525-28j00	2	音 好宏		
MHJN1272	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	音 好宏		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1302	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	渡邊 久哲		M1 (25年次生) 対象、注1参照

MHJN1312	秋	論文演習 I b	JRN517-28.j00	2	阿部 るり		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1322	秋	論文演習 I b	JRN517-28.j00	2	柴野 京子		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1352	秋	論文演習 I b	JRN517-28.j00	2	国枝 智樹		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1362	秋	論文演習 I b	JRN517-28.j00	2	奥山 俊宏		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1372	秋	論文演習 I b	JRN517-28.j00	2	高橋 直治		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1382	秋	論文演習 I b	JRN517-28.j00	2	アルン デソーザ		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN1392	秋	論文演習 I b	JRN517-28.j00	2	佐藤 卓己		M1 (25年次生) 対象、注1参照
MHJN2032	秋	論文演習 II b	JRN602-28.j00	2	音 好宏		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2062	秋	論文演習 II b	JRN602-28.j00	2	渡邊 久哲		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2072	秋	論文演習 II b	JRN602-28.j00	2	阿部 るり		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2082	秋	論文演習 II b	JRN602-28.j00	2	柴野 京子		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2112	秋	論文演習 II b	JRN602-28.j00	2	国枝 智樹		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2122	秋	論文演習 II b	JRN602-28.j00	2	奥山 俊宏		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2132	秋	論文演習 II b	JRN602-28.j00	2	高橋 直治		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2042	秋	論文演習 II b	JRN602-28.j00	2	アルン デソーザ		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN2152	秋	論文演習 II b	JRN602-28.j00	2	佐藤 卓己		M2 (24年次生) 対象、注1参照
MHJN7060	秋	マス・メディア論演習	JRN503-28.j00	2	柴野 京子		
MHJN7102	秋	マス・コミュニケーション法制特講 II	JRN527-28.j00	2	*植田 記康		後期課程「マス・メディア論 特殊研究 II b」と合併
MHJN7112	秋	米州のマス・メディア論特講 II	JRN515-28.j00	2	*尾崎 元		
MHJN7160	秋	新聞論特講 II	JRN505-28.j00	2	奥山 俊宏		後期課程「マス・メディア論 特殊研究 I b」と合併
MHJN7180	秋	放送論特講 II	JRN507-28.j00	2	音 好宏		
MHJN7200	秋	国際コミュニケーション論特講 II	JRN509-28.j00	2	阿部 るり		
MHJN7220	秋	情報科学論特講 II	JRN511-28.j00	2	音 好宏		
MHJN7240	秋	マス・コミュニケーション調査特講 II	JRN513-28.j00	2	渡邊 久哲		
MHJN7260	秋	広報論特講 II	JRN529-28.e00	2	国枝 智樹	○	
MHJN9210	秋	修士論文	JRN699-28.j00	0	新聞学専攻各指導教員		M2対象
MHJN7040	休講	ジャーナリズム史演習	JRN502-28.j00	2			
MHJN7050	休講	広告論特講 I	JRN518-28.j00	2			
MHJN7070	休講	広告論特講 II	JRN519-28.j00	2			

注1：論文演習については以下の通り合同で行う（合併科目）

前期課程「論文演習 I a」、「論文演習 II a」／後期課程「論文演習 I a」、「論文演習 II a」、「論文演習 III a」

前期課程「論文演習 I b」、「論文演習 II b」／後期課程「論文演習 I b」、「論文演習 II b」、「論文演習 III b」



## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
JRN599-28j00	音 好宏	
JRN599-28j00	渡邊 久哲	
JRN599-28j00	阿部 るり	
JRN599-28j00	柴野 京子	
JRN599-28j00	国枝 智樹	
JRN599-28j00	奥山 俊宏	
JRN599-28j00	高橋 直治	
JRN599-28j00	佐藤 卓己	

## 新聞学専攻 博士後期課程

---

### 新聞学専攻 博士後期課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
↳論文演習Ia	2		
↳論文演習Ib	2		
↳論文演習II a	2		
↳論文演習II b	2		
↳論文演習IIIa	2		
↳論文演習IIIb	2		
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

### 【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
博士後期課程必要単位の履修	4月以降	D1以上	
博士後期課程研究計画書の提出	5月上旬	D1以上	
博士論文計画書の提出	5月上旬	D1以上	
博士論文提出資格試験		D3以上	専攻に申請後、専攻の許可に基づき実施。
博士論文の提出		D3以上	
博士論文審査・口述試験		D3以上	博士論文提出後、半年以内に実施。

### 【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題意識が明確で、テーマが十分に絞り込まれていること。
2. 先行研究を十分に検討・吟味し、引用が的確になされていること。
3. 研究目的に照らして、研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
4. 論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
5. 論文の言語表現が的確で正しく、目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
6. 得られた知見にオリジナリティがあり、新聞学の研究に寄与するものであること。

7. 執筆者に今後研究者として自立して研究を遂行していく能力があることを示すものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション論特殊研究 Ia			2
コミュニケーション論特殊研究 Ib			2
コミュニケーション論特殊研究 II a			2
コミュニケーション論特殊研究 II b			2
コミュニケーション論特殊研究 演習I			2
コミュニケーション論特殊研究 演習II			2
ジャーナリズム史特殊研究I			2
ジャーナリズム史特殊研究II			2
ジャーナリズム史特殊研究演習 Ia			2
ジャーナリズム史特殊研究演習 Ib			2
マス・メディア論特殊研究Ia			2
マス・メディア論特殊研究Ib			2
マス・メディア論特殊研究II a			2
マス・メディア論特殊研究II b			2
マス・メディア論特殊研究演習 I			2
マス・メディア論特殊研究演習 II			2
論文演習Ia	2		
論文演習Ib	2		
論文演習II a	2		
論文演習II b	2		
論文演習IIIa	2		
論文演習IIIb	2		

### 3. 履修上の注意

---

1. 後期課程論文演習は半期ごとに2単位、3年間で計12単位を履修すること。
2. 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」の項を参照すること。
3. 博士論文執筆にあたっては専攻規定（2011年4月1日改訂）を参照のこと。なお、学位論文未提出にて満期退学する場合も、研究成果（修士論文レベル）を提出し、指導教員ならびに専攻の承認を得なければならない。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [新聞学専攻 博士後期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DHJN3010	春	コミュニケーション論特殊研究Ia	JRN807-28j00	2	渡邊 久哲		前期課程「コミュニケーション論特講I」と合併
DHJN3231	春	論文演習Ia	JRN801-28j00	2	音 好宏		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3261	春	論文演習Ia	JRN801-28j00	2	渡邊 久哲		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3251	春	論文演習Ia	JRN801-28j00	2	柴野 京子		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3241	春	論文演習Ia	JRN801-28j00	2	阿部 るり		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3281	春	論文演習Ia	JRN801-28j00	2	奥山 俊宏		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3291	春	論文演習Ia	JRN801-28j00	2	佐藤 卓己		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN4031	春	論文演習IIa	JRN803-28j00	2	音 好宏		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4061	春	論文演習IIa	JRN803-28j00	2	渡邊 久哲		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4051	春	論文演習IIa	JRN803-28j00	2	柴野 京子		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4041	春	論文演習IIa	JRN803-28j00	2	阿部 るり		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4081	春	論文演習IIa	JRN803-28j00	2	奥山 俊宏		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4091	春	論文演習IIa	JRN803-28j00	2	佐藤 卓己		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN5031	春	論文演習IIIa	JRN805-28j00	2	音 好宏		D3(22年次生)対象、注1参照
DHJN5061	春	論文演習IIIa	JRN805-28j00	2	渡邊 久哲		D3(22年次生)対象、注1参照
DHJN5051	春	論文演習IIIa	JRN805-28j00	2	柴野 京子		D3(22年次生)対象、注1参照
DHJN5041	春	論文演習IIIa	JRN805-28j00	2	阿部 るり		D3(22年次生)対象、注1参照
DHJN5081	春	論文演習IIIa	JRN805-28j00	2	奥山 俊宏		D3(22年次生)対象、注1参照
DHJN5091	春	論文演習IIIa	JRN805-28j00	2	佐藤 卓己		D3(22年次生)対象、注1参照
DHJN7020	春	コミュニケーション論特殊研究IIa	JRN809-28j00	2	渡邊 久哲		
DHJN7030	春	コミュニケーション論特殊研究演習I	JRN811-28j00	2	高橋 直治		
DHJN7040	春	ジャーナリズム史特殊研究I	JRN813-28j00	2	佐藤 卓己		前期課程「ジャーナリズム史特講I」と合併
DHJN7050	春	ジャーナリズム史特殊研究演習Ia	JRN815-28j00	2	佐藤 卓己		
DHJN7060	春	マス・メディア論特殊研究Ia	JRN817-28j00	2	奥山 俊宏		前期課程「新聞論特講I」と合併
DHJN7070	春	マス・メディア論特殊研究IIa	JRN819-28j00	2	*植田 記康		前期課程「マス・コミュニケーション法制特講I」と合併
DHJN7080	春	マス・メディア論特殊研究演習I	JRN821-28j00	2	音 好宏		
DHJN3011	秋	コミュニケーション論特殊研究Ib	JRN808-28j00	2	渡邊 久哲		前期課程「コミュニケーション論特講II」と合併
DHJN3232	秋	論文演習Ib	JRN802-28j00	2	音 好宏		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3262	秋	論文演習Ib	JRN802-28j00	2	渡邊 久哲		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3252	秋	論文演習Ib	JRN802-28j00	2	柴野 京子		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3242	秋	論文演習Ib	JRN802-28j00	2	阿部 るり		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3282	秋	論文演習Ib	JRN802-28j00	2	奥山 俊宏		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN3292	秋	論文演習Ib	JRN802-28j00	2	佐藤 卓己		D1(24年次生)対象、注1参照
DHJN4032	秋	論文演習IIb	JRN804-28j00	2	音 好宏		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4062	秋	論文演習IIb	JRN804-28j00	2	渡邊 久哲		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4052	秋	論文演習IIb	JRN804-28j00	2	柴野 京子		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4042	秋	論文演習IIb	JRN804-28j00	2	阿部 るり		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4082	秋	論文演習IIb	JRN804-28j00	2	奥山 俊宏		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN4092	秋	論文演習IIb	JRN804-28j00	2	佐藤 卓己		D2(23年次生)対象、注1参照
DHJN5032	秋	論文演習IIIb	JRN806-28j00	2	音 好宏		D3(22年次生)対象、注1参照

DHJN5062	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	渡邊 久哲	D3 (22年次生) 対象、注1参照
DHJN5052	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	柴野 京子	D3 (22年次生) 対象、注1参照
DHJN5042	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	阿部 るり	D3 (22年次生) 対象、注1参照
DHJN5082	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	奥山 俊宏	D3 (22年次生) 対象、注1参照
DHJN5092	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	佐藤 卓己	D3 (22年次生) 対象、注1参照
DHJN7021	秋	コミュニケーション論特殊研究Ⅱb	JRN810-28j00	2	渡邊 久哲	
DHJN7031	秋	コミュニケーション論特殊研究演習Ⅱ	JRN812-28j00	2	アルン デソーザ	
DHJN7041	秋	ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ	JRN814-28j00	2	佐藤 卓己	前期課程「ジャーナリズム史特講Ⅱ」と合併
DHJN7061	秋	マス・メディア論特殊研究Ⅰb	JRN818-28j00	2	奥山 俊宏	前期課程「新聞論特講Ⅱ」と合併
DHJN7071	秋	マス・メディア論特殊研究Ⅱb	JRN820-28j00	2	*植田 記康	前期課程「マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ」と合併
DHJN7081	秋	マス・メディア論特殊研究演習Ⅱ	JRN822-28j00	2	音 好宏	
DHJN7051	秋	ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰb	JRN816-28j00	2	佐藤 卓己	

注1：論文演習については以下の通り合同で行う（合併科目）

前期課程「論文演習Ⅰa」、「論文演習Ⅱa」／後期課程「論文演習Ⅰa」、「論文演習Ⅱa」、「論文演習Ⅲa」

前期課程「論文演習Ⅰb」、「論文演習Ⅱb」／後期課程「論文演習Ⅰb」、「論文演習Ⅱb」、「論文演習Ⅲb」




## 5. 研究指導一覧表


ナンバリング	担当教員名	備考
JRN899-28j00	音 好宏	
JRN899-28j00	柴野 京子	
JRN899-28j00	渡邊 久哲	
JRN899-28j00	阿部 るり	
JRN899-28j00	奥山 俊宏	
JRN899-28j00	佐藤 卓己	

## 文化交渉学専攻

---

### 文化交渉学専攻

 文化交渉学専攻 博士前期課程

 文化交渉学専攻 博士後期課程

## 文化交渉学専攻 博士前期課程

---

### 文化交渉学専攻 博士前期課程

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
↳論文作成法IA	2		
↳論文作成法IB	2		
▶選択科目	26		
↳自専攻科目			
↳自研究科他専攻科目			
↳委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目 (4単位まで)
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

### 【研究指導スケジュール】

 ※4月初旬のガイダンスで配布される「前期課程の研究スケジュール」「修士論文の手引き」を参照すること。

#### 1年次：修士論文のテーマと構成をかためるため、資料や考察範囲の検討を進める。

4月	指導教員の決定と「研究計画書」の提出 →指導教員に自主的に相談し、定期的に検討の経過を報告して助言を得ること。 →指導教員との面談希望は1週間以上前に専攻事務室へ申し出ること。 (または指導教員からの直接の指示に従うこと)
9月下旬	「修論中間発表会」への討議参加（出席は義務）
～1月	修士論文のテーマ・構成をかためる（指導教員に報告して助言を得る）

#### 2年次：以下のスケジュールで修士論文の完成・提出をめざす。

4月	論文のテーマ・構成を確定（指導教員に章立てを提出）
7月上旬	「修論構想発表会」（論文要旨・発表資料を準備）
9月下旬	「修論中間発表会」までに下書きを完成
～11月	下書きを修正
～12月	論文を清書
～1月中旬	総点検と提出 →それぞれの段階で自主的に指導教員に相談・報告し助言を得ること。

## 修士論文作成に際しての重要注意事項

1. 上記のスケジュールに従い、修士論文提出予定年度の4月中旬に、最終的な論文構成（章立て）を指導教員に提出すること。
2. 指導教員は相談に対する助言や提案を与えるのみで、論文原稿の修正・訂正等は直接行わない。日本語表現・誤字・脱字等については自身の責任で整備すること。
3. 日本語表現や論文体裁についての相談・助言は、文化交渉学専攻RAおよび文学研究科PDにも依頼できる。ただし、指定された時間内に余裕をもって依頼すること。
4. 9月の中間発表またはそれ以降の下書き段階で準備不足と判断されると、その年度の審査には値しないものとみなされ、修論提出の延期を勧告される場合がある。
5. 修士論文を書き上げるためには、2年間は決して充分余裕のある時間ではないので、計画的な努力を心がけること（途中でテーマを大幅に変更した場合、指導教員の変更も必要となり、2年間での修了は見込めなくなるので、1年次から綿密に論文計画を練ること）。
6. その他、「修士論文の手引き」を参照すること。

## 【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 明確な問題意識により課題設定がなされ、それにふさわしい方法論がとられていること。
2. 既存の研究成果を適確にふまえ、批判的に継承されていること。
3. 論文構成が適切で、論理展開に整合性と一貫性があること。
4. 考察および結論に独創性があり、専攻分野に対して、何らかの貢献が行われていること。
5. 全体として、専攻分野に関して、執筆者が十分な研究能力を有していることを証する論文であること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		選択
	必修	選必	
論文作成法I A	2		
論文作成法I B	2		
異文化研究特講I A			2
異文化研究特講I B			2
異文化研究特講II A			2
異文化研究特講II B			2
文化交渉学特講I A			2
文化交渉学特講I B			2
文化交渉学特講II A			2
文化交渉学特講II B			2
文化交渉学特講III A			2
文化交渉学特講III B			2
翻訳文化研究I A			2
翻訳文化研究I B			2
翻訳文化研究II A			2
翻訳文化研究II B			2
翻訳文化研究III A			2
翻訳文化研究III B			2
芸術文化研究I A			2
芸術文化研究I B			2
芸術文化研究II A			2
芸術文化研究II B			2
芸術文化研究III A			2
芸術文化研究III B			2
(他) 分野横断研究法：原理と技法			2

### 3. 履修上の注意

---

1. 「論文作成法IA」および「論文作成法IB」は必修科目なので、1年次に必ず履修すること。
2. 「研究指導」を在学中每学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」の項を参照すること。
3. 学位規程、博士前期課程の研究スケジュール（4月初旬の専攻別ガイダンスで配布）に従って、修士論文を作成すること。また、毎年度4月に提出する研究計画書に基づき、各指導教員から個別に指導を受けること。
4. 「(他) 分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講 2025年度秋学期金曜日 5 時限 2 単位科目）について分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位数に算入される。定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、2025年度履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価にはP（合格）・X（不合格）を使用する。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [文化交渉学専攻 博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHCU1010	春	論文作成法ⅠA	CU1501-30j00	2	北條 勝貴		M1対象。自専攻のみ履修可
MHCU1020	秋	論文作成法ⅠB	CU1502-30j00	2	長尾 直茂		M1対象。自専攻のみ履修可
MHCU7010	春	異文化研究特講ⅠA	CU1503-30m00	2	CHEETHAM Dominic		
MHCU7020	休講	異文化研究特講ⅠB	CU1504-30m00	2			
MHCU7030	春	異文化研究特講ⅡA	CU1505-30j00	2	*佐藤 光		
MHCU7040	秋	異文化研究特講ⅡB	CU1506-30j00	2	*佐藤 光		
MHCU7050	休講	文化交渉学特講ⅠA	CU1507-30j00	2			後期課程「文化交渉学特殊研究ⅠA」と合併
MHCU7060	春	文化交渉学特講ⅠB	CU1508-30j00	2	(他)川口 茂雄		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅠB」と合併
MHCU7070	休講	文化交渉学特講ⅡA	CU1509-30j00	2			後期課程「文化交渉学特殊研究ⅡA」と合併
MHCU7080	秋	文化交渉学特講ⅡB	CU1510-30j00	2	(他)原 敬子		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅡB」と合併
MHCU7090	春	文化交渉学特講ⅢA	CU1511-30j00	2	福田 耕介		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅢA」と合併
MHCU7100	秋	文化交渉学特講ⅢB	CU1512-30j00	2	北條 勝貴		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅢB」と合併
MHCU7110	休講	翻訳文化研究ⅠA	CU1513-30j00	2			
MHCU7120	休講	翻訳文化研究ⅠB	CU1514-30j00	2			
MHCU7130	春	翻訳文化研究ⅡA	CU1515-30j00	2	(他)飯野 友幸		
MHCU7140	秋	翻訳文化研究ⅡB	CU1516-30j00	2	福田 耕介		
MHCU7150	休講	翻訳文化研究ⅢA	CU1517-30j00	2			
MHCU7160	休講	翻訳文化研究ⅢB	CU1518-30j00	2			
MHCU7170	春	芸術文化研究ⅠA	CU1519-30j00	2	長尾 直茂		
MHCU7180	休講	芸術文化研究ⅠB	CU1520-30j00	2			
MHCU7190	春	芸術文化研究ⅡA	CU1521-30j00	2	*齊藤 貴子		
MHCU7200	秋	芸術文化研究ⅡB	CU1522-30j00	2	*齊藤 貴子		
MHCU7210	春	芸術文化研究ⅢA	CU1523-30j00	2	*新藤 淳		
MHCU7220	秋	芸術文化研究ⅢB	CU1524-30j00	2	*鈴木 啓子		
MHCU9010	秋	修士論文	CU1699-30j00	0	文化交渉学専攻各指導教員		M2対象
MTTH7780	秋	分野横断研究法：原理と技法	THE565-91j00	2	コーディネータ (他)HAIDAR Juan (他)池田 真		輪講 [30名] 博士前期課程または修士課程1年次生対象 (他)神学研究科神学専攻開講



## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
CUI599-30j00	北條 勝貴	
CUI599-30j00	長尾 直茂	
CUI599-30j00	CHEETHAM Dominic	
CUI599-30j00	三輪 玲子	
CUI599-30j00	福田 耕介	

## 文化交渉学専攻 博士後期課程

---

### 文化交渉学専攻 博士後期課程

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

### 【18年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	6		
▶選択科目	6		
↳自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

### 【17年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数			
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

### 【13～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数			
研究指導（必修）			単位なし、在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

### 【研究指導スケジュール】



4月初旬のガイダンスで配布される「後期課程の研究スケジュール」「博士の学位授与に関する文化交渉学専攻内規」を参照すること。

#### ◆1～2年次：博士論文の準備（テーマと構成をかためるため、資料や考察範囲の検討を進める）

4月	指導教員の決定と「研究計画書」の提出 →指導教員に自主的に相談し、定期的に研究・調査の経過を報告して指導を受けること。 →指導教員との面談希望は1週間以上前に専攻事務室へ申し出ること（または指導教員からの直接の指示に従うこと）。
----	--

～7月中旬	指導教員への春学期研究成果の中間報告（「研究計画書」に基づいて指導を受けること）
～1月中旬	指導教員への秋学期研究成果の中間報告（「研究計画書」に基づいて指導を受けること）

### 📅 ◆3年次以降：以下のスケジュールで博士論文を完成・提出


～4月末	「予備論文」を提出して博士論文提出の意志表明をすること（博士論文提出資格審査の申請）
～5月下旬	申請者に博士論文提出資格審査の結果を通達
～7月中旬	正式な論文提出（専攻より正式に指定された日時までに学事センターに提出）
9～11月	博士論文の審査・口述試験

### 📅 ◆博士論文準備上の注意

1. 博士後期課程に3年間在籍し、レフリー付の研究誌に掲載された論文が2本以上あること（紀要は内容を勘案して数える）。
2. 当該年度の4月末までに「予備論文」(微修正のみで完成論文そのものとなりうる下書き)を提出する必要があるため、博士論文執筆予定者は、その点を充分考慮の上、提出計画を立てること。

### 📅 ◆博士論文の計画方法

1. 博士論文執筆に備えて「休学」を希望する場合は、必ず従来の指導教員の面談を受けて了承を得ること（休学期間も従来の指導教員を相談窓口とすること）。
2. 提出計画に入り次第、まず、提出までのおおよそのスケジュール（今後の在学・休学計画および提出予定年度など）を、現在の指導教員に書面で提出の上、相談すること。
3. 他専攻で適用されている特例などは、新設専攻の文化交渉には適用されないため、必ず学事センターと指導教員の双方に確認を取りながら計画を進めること。

 博士論文に関する共通の通達事項は、専攻主任または専攻事務室からのメール回覧や文書配布によって伝えられる。

### 📅 ◆参考：「博士の学位授与に関する文化交渉学専攻内規」（2018年4月1日制定）

📅 ◆論文再入学の場合も、博士論文提出資格審査（予備論文等の審査）は、原則、年度初めの4～5月に行う。従って、論文再入学は、原則、秋学期入学となる（以下、参照）。

## \*文化交渉学専攻 博士後期課程満期退学後の論文再入学\*

論文再入学は、「大学院博士後期課程の論文再入学に関する規程」（上智大学大学院の共通規程）と「博士の学位授与に関する文化交渉学専攻内規」の双方の条件を満たした場合に可能となる。

### 📅 ◆入学手続きに要する費用(2021年4月1日時点)

130,800円＋検定料10,000円

審査期間が6か月以内で終わらず延びる場合は、在籍料30,000円がかかる。  
（ただし、残余在学期間が6ヶ月しかない場合は延長することはできない。）

## 📄 ◆ 「大学院博士後期課程の論文再入学に関する規程」第2条・第3条について

文化交渉学専攻内規に照らして、博士論文提出資格審査（予備論文等の審査）は、原則、年度初めの4～5月に行い、予備論文等は論文再入学の遅くとも6ヶ月前に提出しなければならないため、論文再入学は、原則、秋学期入学となる。

例) 2020年3月31日（2019年度）付満期退学で残余在学期間1年の場合

→学事規程上の論文再入学の期限は2023年4月（2020年度から3年度後）であるが、文化交渉学専攻内規に照らして、論文再入学の期限は2022年9月、予備論文等の提出期限は2022年3月となる。

❗ 審査期間が6ヶ月を超える場合、延長することができる（在籍料30,000円）。

例) 2020年9月20日（2020年度）付満期退学で残余在学期間6ヶ月の場合

→学事規程上の論文再入学の期限は2024年4月（2021年度から3年度後）であるが、文化交渉学専攻内規に照らして、論文再入学の期限は2023年9月、予備論文等の提出期限は2023年3月となる。

❗ 審査期間は6ヶ月を超えることはできない（延長できない）。

### 【注意事項】

❗ 満期退学後に論文再入学を目指す場合は、在籍時の指導教員から定期的に適切な指導を受け、承諾を得た上で予備論文等を提出すること。

## 【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 明確な問題意識により課題設定がなされ、それにふさわしい方法論がとられていること。
2. 既存の研究成果を適確にふまえ、批判的に継承されていること。
3. 論文構成が適切で、論理展開に整合性と一貫性があること。
4. 独創的知見を有し、専攻分野の学術的発展におおいに寄与するものであること。
5. 全体として、専攻分野に関して、執筆者が研究者として自立して研究活動を継続することのできる高度の研究能力、およびその基礎となる十分な学識を有することを証する内容の論文であること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		選択
	必修	選必	
文化交渉学特殊研究I A			2
文化交渉学特殊研究I B			2
文化交渉学特殊研究II A			2
文化交渉学特殊研究II B			2
文化交渉学特殊研究III A			2
文化交渉学特殊研究III B			2

### 3. 履修上の注意

---

1. 2018年次生以降は、後期課程在籍中に開講科目の中から最低6単位を修得すること。
2. 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」の項を参照すること。
3. 学位規程、博士後期課程の研究スケジュール（4月初旬の専攻別ガイダンスで配布）に従って、研究に従事し、博士号の取得をめざすこと。また、毎年度4月に提出する研究計画書に基づき、各指導教員から個別に指導を受けること。

## 4. 開講科目一覧表

開講科目一覧表 [文化交渉学専攻 博士後期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DHCU7010	休講	文化交渉学特殊研究ⅠA	CUI801-30j00	2			前期課程「文化交渉学特講ⅠA」と合併
DHCU7020	春	文化交渉学特殊研究ⅠB	CUI802-30j00	2	(他)川口 茂雄		前期課程「文化交渉学特講ⅠB」と合併
DHCU7030	休講	文化交渉学特殊研究ⅡA	CUI803-30j00	2			前期課程「文化交渉学特講ⅡA」と合併
DHCU7040	秋	文化交渉学特殊研究ⅡB	CUI804-30j00	2	(他)原 敬子		前期課程「文化交渉学特講ⅡB」と合併
DHCU7050	春	文化交渉学特殊研究ⅢA	CUI805-30j00	2	福田 耕介		前期課程「文化交渉学特講ⅢA」と合併
DHCU7060	秋	文化交渉学特殊研究ⅢB	CUI806-30j00	2	北條 勝貴		前期課程「文化交渉学特講ⅢB」と合併



## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
CUI899-30j00	北條 勝貴	
CUI899-30j00	長尾 直茂	
CUI899-30j00	CHEETHAM Dominic	
CUI899-30j00	三輪 玲子	
CUI899-30j00	福田 耕介	